

$T_3$ とする)の正常範囲を25~38%とした。 $T_3 < 25\%$ の $r$ は0.21,  $25\% \leq T_3 \leq 38\%$ での $r$ は0.03,  $T_3 < 37\%$ の $r$ は0.15であり、結論としては男子38例以外にはまったく相関は認められなかった。

これは諸家の報告と一致し、 $T_3$ -testの信頼性が認められている現在 $^{131}\text{I}$ -uptakeのみで甲状腺機能の評価はできない。

質問：黒田満彦(金沢大学村上内科)  $^{131}\text{I}$ 摂取率測定にさきだって、ヨード制限食とかの処置を行なったか。

答：横山 弘 トリオソルブテスト前に海藻類その他の食餌制限、茶剤制限を行なってはいるが、全例入院患者ではないので厳密なことはいえない。

\*

#### 4. 甲状腺スキャン像の分類

高山 茂  
(能登病院 放射線科)

久田欣一  
(金沢大学 中央放射線部)

甲状腺スキャン像を24のパターンに分類し、疾患との関係を調べ報告した。症例は金大放射線科で取り扱ったもの166例で、縮小像、辺縁圧排像および異所性甲状腺像の7例を除き、組織診断の判明したものである。

〔分類〕 正常像、縮小像、片側延長像、片側拡大像(これを打点の粗、均等、密なものに3分)、両側軽度拡大像(これを打点の粗、標準、密なものに3分)、両側高度拡大像(打点の標準、密なものに2分)、欠損像(さらに孤立性小欠損像、多発性欠損像、拡大を伴った大欠損像、拡大を伴わない大欠損像、片側中央残留欠損像、片側完全欠損像および全体欠損に分けた)、片側類欠損像(拡大の伴うもの、拡大の伴わないもの、縮小または反対側拡大を伴うものに3分)、辺縁圧排像。異所性甲状腺および転移巣陽性像の計24に分類した。

〔スキャン像と疾患との関係〕 悪性のものは孤立性小欠損像(3/3)、片側中央残留欠損像(5/5)、片側完全欠損像(8/9)、拡大を伴わない大欠損像(23/27)、拡大を伴った大欠損像(3/8)に多くみられた。また、片側拡大打点粗像(2/2)、縮小または反対側拡大を伴った類欠損像(2/2)、正常像(3例)を示した悪性甲状腺腫があった。拡大の伴う片側類欠損像(27/28)、拡大の伴わない片側類欠損像(11/12)を示すものは良性であった。

その他、両側高度拡大打点の密なものは、中毒性甲状腺腫に圧倒的に多く、全体欠損を示した4例はいずれも

炎症性疾患であった。

質問：高松 脩(金沢大学水外科) 橋本氏病の甲状腺スキャン像の特徴は？われわれは主として触診所見を主とし、スキャン像を参考として手術の適応を決めているが、なにか決め手となる像はあるか。

答：高山 茂 症例も少なく本日は炎症の中へ綜括した成績で、詳細は申しあげにくく、両側軽度拡大像、片側拡大打点均等像にやや多くみられたが、他のスキャン像にも含まれており、決め手となる特徴はないと思う。

追加：正谷 健(富山県立中央病院放射線科) 橋本氏病のスキャンの特徴として4例のみであるが、病理学的にも確かめられたものから割りだすと、触診上、腫大しているにもかかわらず、スキャン像は両側とも萎縮し(または欠損様)、とくに中央部の周囲の $^{131}\text{I}$ のとり込みが少なく、周囲を糸でまきつけたようにみえる。またtriosorb test値が低い。

追加：立野育郎(国立金沢病院特殊放射線科) 橋本氏病の場合、私の経験では、ほとんど症例が両側性の変化を示していたが、片側のtotal defectで甲状腺癌と考えたいような症例が3例あった。

質問：高松 脩(金沢大学水外科) 甲状腺スキャン時の診断と確定診断との対比はどのようなものであったか。すなわちスキャン像のみからみた診断的中率はどうか。

答：高山 茂 適中率は調べていない。

本日の報告の成績は術後の診断がわかってから再度スキャン像を見直しているために、術前のスキャン像のみからの成績はいくらかわるくと思う。

\*

#### 5. 肝疾患における Albumin の Gastroenteric Clearance について

小林健一 高田 昭  
(金沢大学 武内内科)

肝疾患における低albumin血症の主因は肝におけるalbumin生成の低下にあることは異論のないところであるが、さらに肝以外の要素がどの程度関与しているかを検討するために、主に肝後性因子としてのprotein lossの要素を検討し、併せて肝前性因子としての消化吸収の面にも考察を加えた。消化吸収の面では $^{131}\text{I}$ -RISAを用いた消化吸収試験の結果、対照群と肝硬変で有意の差はみられず、肝硬変において明らかなタンパクの消化吸収障害はないと考えられた。次に $^{131}\text{I}$ -PVPの糞便内排泄率